第14回京都ヒストリカ国際映画祭

KYOTO HISTORICA
INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

会　期：2022年10月29日（土）～11月6日（日）
会　場：京都文化博物館 フィルムシアター／オンライン
主　催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会
（京都府／京都文化博物館／東映㈱京都撮影所／㈱松竹撮影所／㈱東映京都スタジオ／巌本金属㈱／㈱ディレクターズ・ユニブ／立命館大学）
共　催：KYOTO CMEX実行委員会
後　援：（一社）日本映画製作者連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／（一社）日本映画テレビ技術協会
対　象：一般
公式サイト：https://historica-kyoto.com/

総来場者数（参加数）：3,409人

■開催内容

京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭である。昨年度に引き続き、オンライン上映を加えたハイブリッド型で開催した。

シアターの上映作品は、時代劇専門チャンネルと連携した井上昭監督特集や小泉堯史監督を招いたレクチャー付きの上映を実施した。またBEYOND REALITYと題した空想時代劇特集、ヴェネチア国際映画祭・ボローニャ復元映画祭と連携したプログラムなど、多彩な全25作品を上映した。オンライン上映は、シアター上映の一部の作品を映画祭期間終了後に1週間限定で配信。昨年、好評を得たYouTube Liveを活用したオンライントーク企画「夜のヒストリカ」も継続して実施した。18名のゲストが来場し、コロナ禍前に近い熱気ある映画祭となった。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

映画祭開催1週間前のプレ企画に、立命館大学映像学部の学生と連携し、学生が企画した上映会を開催した。多くのユーザーも持つ作品を上映したこともあり、宣伝において、SNSの拡散が多くされ、これまでにないユーザー層に訴求できる企画が実施できた。また映画祭併設の若手フィルムメーカー向けワークショップ「京都フィルムメーカーズラボ」と連携し、三池崇史監督や小泉堯史監督の作品を上映したのちに、一般の観客を交えたオープンレクチャーを実施した。